

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	国語	文学国語	-	必履修・必修・選択	3
科目の 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、想像的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いやりや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	『新 文学国語』 (三省堂)	副教材 (出版社)	「セレクト漢字検定5級～2級 確認と演習 三訂新版」 (桐原書店)		
留意点				開講 予定人数	40人

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。
思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、想像的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いやりや考えを広げたり深めようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	◎	○
授業での活動	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

日頃から読書を通じて積極的に文学作品に触れるようにしましょう。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	①オリエンテーション （使用教材、評価方法説明）	1	②【知】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。
	②文学の言葉を感じ取る ・虹の雌雄（蜂飼耳）	7	【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
5	③作家のストラテジーを読み解く ・少年という名前のメカ（松田青子）	8	③【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
	④単元テスト	1	【思】文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。
6	⑤文学の想像力を捉える ・月火水木金土日（川上弘美）	9	【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
7	⑥近代の文章に価値を見いだす	9	⑤／⑦【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
8	・永訣の朝（宮沢賢治）	9	【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。
	⑦表現の意味を捉え直す ・物語もっと深読み教室（宮川健郎）	11	【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
	⑧単元テスト	1	⑥【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。
9	⑨心情の表現に読みひたる	14	【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。
10	・山月記（中島敦）	14	【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
	⑩言語文化の可能性を追求する	17	⑨／⑩【知】文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。
11	・鞆（安部公房）	17	【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。
12	・ピクニックの準備（恩田陸）	17	【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
	⑪文学の普遍性① ・雨月物語一浅茅が宿（上田秋成）	9	⑩【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
1	⑫空間を越える翻訳文学 ・星の王子さま（サン＝テグジュペリ）	9	【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
			⑫【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【主】上記【知】【思】の取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	地理歴史	歴史総合	-	必履修・必修・選択	2
科目の 目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする【知識及び技能】</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関係や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を粗野に課題を主体的に追求、解決使用とする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての次各区などを深める。【学びに向かう力、人間性等】</p>				
教科書 (出版社)	歴史総合 みる・よみとく・考える (山川出版社)	副教材 (出版社)	歴史総合ノート みる・よみとく・考える (山川出版社)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	○	○
ワークシート	◎	◎	○
学習観察	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	1節 歴史と私たち 世界とつながる旅行の歴史 ～身近なものから歴史を考えてみよう～	4	○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ○日本や世界のさまざまな地域の人の歴史を歴史が叙述されていることを理解する。 ○中学校の歴史的分野で学習した内容を基に、前近代の日本と世界のつながりについて振り返る。
5	2節 結びつく世界と日本の開国	6	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。 18世紀の東アジア諸国がどのような関係を築き、どのような経済発展をしていたのかについて理解する。
6	3節 国民国家と明治維新	9	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制と国民国家の形成を理解する。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。
7 8	4節 近代化と現代的な諸課題	9	植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。 20世紀初期、帝国主義に対して人々はどのような態度を示し、アジア諸国はどのような動きを見せたのかについて理解する。 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。
9 10	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	10	国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。
11	3節 経済危機と第二次世界大戦	6	経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。
12	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	10	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 生活と文化に関する写真等から、国際秩序の変化や大衆化の歴史を振り返り、理解を深める。 冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境問題、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。
1	3節 世界秩序の変容と日本	5	アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。
1	4節 現代的な諸課題の形成と展望	5	科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	数 学	数学A	-	必履修・必修・選択	2
科目の 目 標	身の回りの数学について、基礎的な計算力の定着を図る。また、数学的な表現の工夫について、活用する態度を身につけることができる。 経済にまつわる数学やコンピュータの原理について理解することができる。 歴史の中での数の表現を学び、いろいろな計算ができる。				
教科書 (出版社)	最新 数学A (数研出版)	副教材 (出版社)	書き込み式シリーズ [基本～標準] 教科書傍用パラレルノート 数学A (数研出版)		
留意点	特になし			開 講 予定人数	必修のため全員

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	事象を数学的に表現・処理する方法や推論の方法などの技能を身につけている。また、数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。
思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。

(2) 評価方法

観点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・単元テスト 小テスト	◎	◎	
ワークシート 授業中の発言・発表	○	◎	○
授業への取組姿勢 週末課題 長期休業中の課題	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

就職希望者、公務員希望者、専門学校進学希望者向けとしますが、基礎的な数学の知識や技能を幅広く身につけることを目的としています。

4 年間指導計画（評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 身の回りの数学 第1節 いろいろな場合の数 試合数は全部でいくつか、 樹形図で考えよう、点字のしくみ、最短距離の道順	7	【知】実生活における数学について、具体例を通して数学の有用性を理解し、計算することができる。 作図や工作を通し、図形の性質についての理解を深め、デザインの美しさや素晴らしさを感じ取ることができる。 【思】数学的な表現の工夫について、具体例を通し事象を数学的に表現し、それらを活用する態度を身につけることができる。 【主】積極的に課題や作業に取り組んだり、それらを理解しようとしている。
5	第2節 身の回りの図形 紋章の美しさ、平面を敷き詰める、多面体の性質、正多面体の展開図	7	
	【前期中間考査】	1	
6	第3節 数学的な表現のくふう 道順とあみだくじ、7つの橋は渡れるか、行列と経路、行列の積、航路と行列の積	10	
7	第2章 社会生活と数学 第1節 経済と数学 福引きの賞金と期待値、単利法のしくみ、複利法のしくみ、ローンの返済	7	【知】社会生活で実際に活用されている経済にまつわる数学を取り上げ、計算の違いから数学的な変化の違いを理解することができる。コンピュータの簡単な原理について理解し、数学がコンピュータの活用にとって大きな役割を果たしていることを認識している。 【思】社会生活を営む上で人間がつくった数理的な仕組みについて、具体例を通し理解することができる。 【主】積極的に課題や作業に取り組んだり、それらを理解しようとしている。
8	【前期期末考査】	1	
9	第2節 測定と数学 本の大きさいろいろ、地図を読もう、坂道の角度を求めよう、建物の高さを求めよう	7	
10	第3節 コンピュータと人間の活動 コンピュータと2進法、GPS衛星、近似直線、標本調査	5	
11	第3章 数学の発展と人間の活動 第1節 数と人間 エジプトとバビロニアの数学、ローマの数字と5進法、	4	【知】数学の歴史の中での数の表現を通し、数学の諸概念と人間の活動との関わりについて理解し、いろいろな計算ができる。 図形に関する諸概念が数学の歴史の流れの中でどのように形成されたかを理解し、数学の歴史をより一層身近なものとして感じ取ることができる。 【思】数学と文化が深く関わっていることを認識し、日常生活の中にある事象を通し、数学と人間の活動との関わりを理解することができる。 【主】積極的に課題や作業に取り組んだり、それらを理解しようとしている。
	【後期中間考査】	1	
12	0の発見と位取り、四角数と三角数、フィボナッチ数列	5	
1	第2節 図形と人間 古代の測量と図形の面積、ピラミッドの高さ、三平方の定理の誕生、ピタゴラスと三平方の定理、円周率と円の面積、黄金比と2次方程式	9	

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	理科	生物基礎	-	必履修・必修・選択	2
科目の 目 標	<p>①知識及び技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。</p> <p>②思考、判断、表現 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	新編生物基礎（東京書籍）	副教材 (出版社)	ニューサポート 改訂	新編生物基礎（東京出版）	
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	・生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけた。
思考・判断・表現	・生物や生物現象についての知識を活用し、思考することができた。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身につけた。

(2) 評価方法

評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	○	
ワークシート	○	◎	◎
学習観察			◎

3 履修上および学習上の注意

<p>1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。</p> <p>2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。</p> <p>3 学んだことをより正確に記録する方法と態度を身につけること。</p>

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 生物の特徴 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 生物の進化と系統 4 細胞と個体の成り立ち	13	【知】・生物がもつ多様性と共通性を理解している。 ・細胞のしくみや生物の構造を整理し、理解している。 【主】・細胞の観察手法や顕微鏡操作に主体性を持って理解しようと取り組み、実験結果を正しくまとめ、アウトプットしようとする。
5	5 真核細胞の構造 6 原核細胞の構造 7 生命活動とエネルギー 8 ATP の構造 9 生体内の化学反応と酵素 10 光合成と呼吸 【前期中間考査】		
6	第2章 遺伝子とその働き 11 生物と遺伝情報 12 DNA の構造と遺伝情報 13 DNA 複製 14 DNA と染色体	12	【知】・生物学における遺伝子の正しい意味を認識することができる。 【主】・遺伝子本体の物質の解明に向けた先人の実験手法や結果に関心を持って理解しようとする。
7	15 細胞周期と DNA の分配 16 細胞周期と DNA 量の変化 17 遺伝子発現とタンパク質 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子発現と維持 【前期期末考査】		
8	第3章 神経系・内分泌による調節 21 恒常性と体液 22 血液凝固と線溶 23 恒常性に関わる神経系 24 自律神経系と脳死 25 ホルモンによる調節 26 ホルモン分泌の調節 27 血糖濃度の変化と糖尿病 28 血糖濃度の調節のしくみ 29 体温と水分量の調節 【後期中間考査】	12	【知】・体内環境の恒常性が保たれるしくみを理解する。 ・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 ・心拍数、体温、血糖量を調節することの必要性を正しく理解する。 【主】・自律神経系や内分泌系が、心拍数、体温、血糖量などを調節するしくみに関心を持って探究しようとする。
9	第4章 免疫 30 生体防御の概要 31 異物の侵入を阻止するしくみ 32 自然免疫のしくみ 33 獲得免疫の概要 34 細胞性免疫と体液性免疫 35 抗体とその利用 36 免疫記憶とその利用 37 免疫と病気① 38 免疫と病気②		
10	第5章 植生と遷移 39 環境と生物 40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム 【後期期末考査】	9	【知】・陸上には気象条件に適応した多様な植生が見られることを理解する。 ・植生は、植物自身が変化した環境に適応した結果、長期的に移り変わっていくことを理解する。 【主】・気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を整理しようとする。
11	第6章 生態系とその保全 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物 54 生物多様性と生態系の保全 55 生態系と人間生活		
12		9	【思】・生態系のバランスについての理解に基づき、生態系保全と人間生活の関わり的重要性を認識する。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	保健体育	体育		必履修・必修・選択	2
科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				
教科書(出版社)	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材(出版社)			
留意点				開講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識及び技能	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけているか。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につけているか。
学びに向かう力・人間性等	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけているか。

(2) 評価方法

観点 評価方法	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
実技テスト・ゲーム	○	○	○
ワークシート	○	○	○
学習観察		○	○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 評価の際には、2の(1)に記載の3観点を同等に取り扱うものとする。 運動が苦手でも一生懸命取り組み、各種目の特性や自己の技能について探究し、発見した課題の解決に向けて考えること。 運動が得意でも、仲間との体力や技能などの違いに配慮し、仲間全員が運動に親しめるよう、よりよい環境づくりに主体的に取り組むこと 体調に応じて運動量を調整したり、仲間や相手の体力や技能の程度に配慮したり、用具や場の安全を確認するなどして、自他共に怪我のないように心掛けること。 領域選択Ⅱ期とⅢ期は同一種目を選択することはできない 体育理論の授業においては保健の教科書を使用する。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点（抜粋）
4	オリエンテーション	1	「体づくり運動」 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、
	1「体づくり運動」	6	
	2「体育理論」	3	
5	3「球技<ネット型>（バレーボール） 「球技<バレーボール型>ソフトボール」	10	「体育理論」 【知】豊かなスポーツライフ設計の仕方について理解している 【思】課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝えようとしている 【学】主体的に学習に取り組んでいる
6	4「球技<ネット型>（ソフトテニス） 「球技<ネット型>（バドミントン）」	10	「球技<ゴール型>」 【知】状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって、空間への侵入などから攻防をすることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、フェアプレーを大切にしている
7			「球技<ネット型>」 【知】状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、フェアプレーを大切にしている
8	5「領域選択Ⅰ期」 ・球技<ネット型>（バレーボール）	10	
9	・球技<バレーボール型>（ソフトボール） ・陸上競技		「球技<バレーボール型>」 【知】状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、フェアプレーを大切にしている
10	6「領域選択Ⅱ期」 ・球技<ゴール型>（バスケットボール） ・球技<ネット型>（バドミントン） ・球技<ネット型>（卓球）	10	「武道（柔道）」 【知】相手の動きの変化に応じて、得意技や連絡技を用いて相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、伝統的な行動の仕方を大切にしている
11	・武道（柔道） ・「ダンス」		「ダンス」 【知】ダンスの多様な楽しさや喜びを味わい、その文化的背景と表現の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる 【思】下記※1 参照 【学】下記※2 参照、互いに共感している
12	7「領域選択Ⅲ期」 ・球技<ゴール型>（バスケットボール） ・球技<ネット型>（バドミントン） ・球技<ネット型>（卓球） ・武道（柔道） ・「ダンス」	10	
1			※1 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて取り組むとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる
2	8「体育理論」	3	※2 主体的に取り組んでいる、互いに助け合い高め合おうとしている、合意形成に貢献している、一人一人の違いに応じた動き・課題・挑戦を大切にしている、健康・安全を確保している
3			

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	英語	英語コミュニケーションⅡ	-	必履修・ 必修 ・選択	2
科目の 目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。具体的な活動・領域は以下の通り。</p> <p>(1) 聞くこと ア 日常的及び社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することや概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的及び社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することや概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>				
教科書 (出版社)	All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)	副教材 (出版社)	All Aboard Ⅱ WORKBOOK Ⅱ (東京書籍) クラウン チャンクで英単語 Basic(三省堂)		
留意点	2学年「英語コミュニケーションⅡ」から継続履修です。			開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について聞くこと、読むことを通して、その内容を捉える技能を身に付けている。また、それらの話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすることで、話の展開や話し手の意図、概要、要点、詳細を捉えている。また、それらの話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して詳しく伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、聞き手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評価方法			
定期考査・小テスト リスニングテスト 等	◎	○	○
定期考査・ワークシート パフォーマンステスト 等	○	◎	◎
学習観察・提出物 授業や課題への取り組み 等	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

- ・言語活動に取り組む態度を持ち、異国の文化を学んでください。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	Lesson 6	8	<p>(知) 動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名人な場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>(思) 伝統野菜に関して書かれた文章について考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>(主) 伝統野菜に関して書かれた文章について、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
5	Word Box 3	1	仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。
6	前期中間考査 Lesson 7	1 8	<p>(知) 関係副詞 where, when を用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>(思) 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>(主) 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
7	Communication 2	2	海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり、旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方を理解している。
8	Getting the Necessary Information	2	目的地までの行き方を案内するにあたり、地下鉄の路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとしている。
9	前期期末考査 Lesson 8	1 8	<p>(知) 知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>(思) 生物模倣についてのオンライン講演の授業に関して書かれた文章について、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>(主) 生物模倣についてのオンライン講演の授業に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
10	文法のまとめ 3 Lesson 9	2 8	<p>(知) 使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>(思) チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>(主) チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
11	エッセイライティング	3	興味をもっている社会問題に関して、必要な情報や感想・意見などを英語のエッセイの流れに構成して、読む者が理解しやすいようなエッセイを書いている。
12	Extra Target 2 後期中間考査 Lesson 10	2 1 8	<p>(知) 仮定法過去 (I wish+過去形の文) を用いた文の形・意味を理解している。ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>(思) 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>(主) 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
1	文法のまとめ 4 Reading 2	2 5	自分たちで結末を考えた、英語で書かれた Bear's Pie の内容を理解している。また、登場人物の気持ちが聞いている者に伝わるように、朗読する知識を身につけている。
	Word Box 5	2	自分が何時ごろに何をするかについて、平日の生活でよく使われる語句や表現を用いて書いて、適切な発表を行っている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	英語	実用英語	H	必履修・必修・ 選択	2
科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、ニュース記事や時事問題について記された題材を用いて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書 (出版社)		副教材 (出版社)	Watching World (浜島書店)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	世界の時事問題や文化に関するニュース記事を正しく読み、事実や自分の意見を論理的に相手に伝えるために必要な英単語や、英文法知識の定着度と運用能力を評価する。
思考・判断・表現	世界の時事問題や文化の違いを知り、その社会的背景を理解した上で、多様な語句を用いて論理の展開や表現の方法を工夫しながら分かりやすく相手に伝える能力を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	世界各地の文化や宗教、経済を学び、自分と異なる人々の価値観を尊重するとともに、自国の文化や自身の意見も尊重しながら公平な立場で英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を評価する。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
単元テスト、 リスニングテスト	◎	○	
ワークシート、 パフォーマンステスト	○	◎	○
授業態度、提出物			◎

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題について英語で話す活動、ペアやグループによるパフォーマンステスト（ロールプレイ、プレゼンテーションなど）を行います。 主に、単元テストとパフォーマンステストで評価をします。詳しくは授業内で説明します。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	○オリエンテーション	1	
	1 Food Culture in China	3	(知) 受動態を用いた文の用法を理解している。 (思) 好きな料理の特徴や食材について、英語で話することができる。 (主) 好きな料理の特徴や食材について、英語で話そうとしている。
	単元テスト①	1	
	2 Multiethnic Singapore	3	(知) 継続を表す過去完了を用いた文の用法を理解している。 (思) 習ってみたい外国語とその理由について英語で話することができる。 (主) 習ってみたい外国語とその理由について英語で話そうとしている。
5	単元テスト②	1	
	3 Unique Australian English	3	(知) to 不定詞を用いた文の用法を理解している。 (思) 知っている方言の意味について英語で話することができる。 (主) 知っている方言の意味について英語で話そうとしている。
	単元テスト③	1	
	4 The Ganges	3	(知) 名詞を修飾する過去分詞を用いた文の用法を理解している。 (思) 日本の観光地やイベントについて、英語で話することができる。 (主) 日本の観光地やイベントについて、英語で話そうとしている。
6	単元テスト④	1	
	● Travel English	1	
	5 Turkish Cuisine	3	(知) 接続詞 if を用いた文の用法を理解している。 (思) おすすめの日本食について英語で説明できる。 (主) おすすめの日本食について英語で説明しようとしている。
	単元テスト⑤	1	
7	6 Ramadan	3	(知) 比較級を用いた文の用法を理解している。 (思) 節分、七夕、七五三について英語で説明できる。 (主) 節分、七夕、七五三について英語で説明しようとしている。
	単元テスト⑥	1	
	7 Kenya, Leading Mobile Money Country	3	(知) 道具を表す with を用いた文の用法を理解している。 (思) スマートフォンの便利な機能やアプリについて英語で説明できる。 (主) スマートフォンの便利な機能やアプリについて英語で説明しようとしている。
	単元テスト⑦	1	
8	【パフォーマンステスト1】	4	
	8 Onion Domes of Russian Churches	3	(知) 名詞を修飾する～ing を用いた文の用法を理解している。 (思) 日本の寺や神社での作法を英語で説明できる。 (主) 日本の寺や神社での作法を英語で説明しようとしている。
	単元テスト⑧	1	
	● Talking about Japan	1	
9	9 British Boarding Schools	3	(知) see+人+～ing を用いた文の用法を理解している。 (思) 学校生活の思い出を英語で話せる。 (主) 学校生活の思い出を英語で話そうとしている。
	単元テスト⑨	1	
10	10 Land of Fire and Ice	3	(知) 関係代名詞 that を用いた文の用法を理解している。 (思) 日本のエネルギー利用について、英語で話し合える。 (主) 日本のエネルギー利用について、英語で話し合おうとしている。
	単元テスト⑩	1	
11	11 Japanese Immigrants to Brazil	3	(知) it is ～ (for 人) to …を用いた文の用法を理解している。 (思) 海外で活躍する日本人について英語で話せる。 (主) 海外で活躍する日本人について英語で話そうとしている。
	単元テスト⑪	1	
	12 Day of the Dead	3	(知) that 節を用いた文の用法を理解している。 (思) 日本のお盆やお墓参りについて、英語で説明できる。 (主) 日本のお盆やお墓参りについて、英語で説明しようとしている。
	単元テスト⑫	1	
12	13 The U.S.A. and Its States	3	(知) 接続詞 when を用いた文の用法を理解している。 (思) 行きたい国とその理由を英語で話せる。 (主) 行きたい国とその理由を英語で話そうとしている。
	単元テスト⑬	1	
1	【パフォーマンステスト2】	5	

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	理科	自然科学入門	H	必履修・必修・ 選択	2
科目の目標	実験や観察を行い、自然科学に対する理解を深める。 調査やレポートの作成発表を通して、科学的に考え、まとめ、表現する能力を養う。				
教科書 (出版社)	使用せず	副教材 (出版社)	使用せず		
留意点	実習費として、2000円程度を徴収する。			開講 予定人数	20人

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	生物観察、ガラス細工、天気図などの実験・実習
思考・判断・表現	顕微鏡観察、化学実験などの実験・実習
主体的に学習に取り組む態度	実験や調査活動のレポート作成、まとめ、発表

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	○	○
ワークシート	○	◎	○
学習観察	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

理科全般を扱う科目になるので理科が苦手な生徒は単位習得が難しい場面もでてきますので、よく考えて履修するように。また、土や昆虫などの自然に触れる場面があるので苦手な生徒は履修しないように。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4 ～ 1	担当教員によって実習内容が異なるため適宜説明する（物理分野、化学分野、生物分野、地学分野）	64	担当教員により評価が異なるため適宜説明する

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	芸術（音楽）	音楽Ⅱ		必履修・必修・ 選択	2
科目の 目標	<p>(1) 音楽Ⅰの学習経験を基盤として、質的に高めた音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>(2) 音楽Ⅰの学習成果を踏まえ、文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め、より広い視野で音楽を捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。</p> <p>(4) 音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する過程を充実させ、音楽を評価しながらそのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。</p> <p>(5) 主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。</p> <p>(6) 音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や音楽の知的財産権を尊重する態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	教育出版 音楽Ⅱ Tutti+	副教材 (出版社)	自作のプリント・楽譜など		
留意点				開講 予定人数	25人

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	<p>【知】曲想と音楽の構造との関わり、曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。</p> <p>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>
思考・判断・表現	<p>音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>なじみのあるJ-POPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>器楽や和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト	○		○
ワークシート	○	○	
学習観察	○	○	○

3 履修上および学習上の注意

※ギター、トーンチャイム、歌唱、器楽（リコーダーも含む）、鑑賞、和楽器など幅広く取り組みます。

※紙ファイルA4版、五線ノート8段～12段を用意してください。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	<p>○Hum With Me. ○よりよい歌声のための練習曲 ◆「アヴェ・マリア」を聴き比べよう ◎グレゴリオ聖歌「アヴェ・マリア」 ◎カミュ・サン＝サーンス ◎アントン・ブルックナー ◆史跡でたどる西洋音楽史 ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実 ◆鑑賞ノート（自作）</p>	6	<p>【知】曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。（歌唱） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。（歌唱） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 （鑑賞）音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。（歌唱） 旋律、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞）</p>
5	<p>○Review 四季の歌 さくらさくら/我は海の子/ ◆音のスケッチ① 音楽の要素を探ろう ◆作曲家年表 ◆楽典（強弱・速度・発想記号）</p>	8	<p>音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。</p>
6	<p>○Core 'ngrato ○Piacere d'amor ◆イタリア語に挑戦！ ◆Review of Basics③ 長音階と短音階 ◆史跡でたどる西洋音楽史</p>	8	<p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>
7	<p>【共通教材】 ○Deck the hall with boughs of holly ○ほたるこい ○Amazing grace</p>	6	<p>【知】様々な表現形態による歌唱（器楽）表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱（器楽）表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う（演奏する）技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う（演奏する）技能を身に付け、歌唱（器楽）で表している。</p>
8	<p>○You are my sunshine □Action I</p>	4	<p>【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。</p>
9	<p>◆協奏曲の魅力を探ろう ◎ピアノ協奏曲第1番 木短調 op.11 ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実 ◆史跡でたどる西洋音楽史 ◆鑑賞ノート（自作）</p>	4 4	<p>【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。</p>
10	<p>○Auf Flügeln des Gesanges OIch liebe dich ◆ドイツ語に挑戦！ ◆Review of Basics④ さまざまな短音階 ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実 ◆史跡でたどる西洋音楽史</p>	8	<p>【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>

11	<p>○あなたはどこに ○たからもの ○大きな古時計 ○Moon river</p>	<p>4 4</p>	<p>【知】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 【技】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>
12	<p>◆名曲プレゼンテーションⅡ—演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力—（自作） ◆演奏家の表現の仕方を感じ取ろう ◎無伴奏チェロ組曲第1番 ◎ツィゴイネルワイゼン ◎ハンガリー田園幻想曲 ◎クラリネット・ソナタ第2番 ◎アダージョとアレグロ ◎ハープ・ソナタ ◆口絵①② 楽器の音色から広がる音楽の世界</p>	<p>3 3</p>	<p>【知】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。</p>
1	<p>※学習状況に基づいて下記【A】【B】【C】から一つを選択して学習する。 【A】◎トゥーランドット ○Nessun dorma 【B】◎キャッツ ○Over the rainbow 【C】◎ニュー・シネマ・パラダイス □タイトル曲 □二人だけの映写会 □愛のテーマ</p>	<p>2</p>	<p>【知】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生みだされる表現上の効果を理解している。（歌唱） 【知】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。（器楽） 【知】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりについて理解を深めている。（鑑賞） 【技】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。（歌唱） 【技】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。（器楽）</p>

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	芸術	美術Ⅱ	H	必履修・必修・ 選択	2
科目の 目標	<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	美術2(光村図書)	副教材 (出版社)	なし		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教材費として4,000円程度徴収する予定である。 ・絵具等で汚れる可能性があるため、汚れてもよい上着を準備してください。 			開講 予定人数	27人

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法			
制作物	○	○	○
ワークシート	○	○	○
学習観察	○	○	○

3 履修上および学習上の注意

--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション （1年の流れ、成績について 教室の使用ルール） ・マチエール・抽象画 ・美術史 ・映像メディア表現 ・デザイン ・1年間まとめ、掃除 	<p>1</p> <p>30</p> <p>4</p> <p>10</p> <p>16</p> <p>3</p>	<p>【知】 形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、抽象絵画を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>【技】 主題に合ったマチエールや表現方法を創意工夫し、材料や用具の特性を生かして個性豊かで創造的にあらわしている。</p> <p>【発】 自己について深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主】 主体的に抽象絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、さまざまな作品の歴史や表現、成り立ちなどを、全体のイメージや様式などで捉えることを理解している。</p> <p>【鑑】 さまざまな作品の造形的なよさや美しさを比較しながら感じ取るとともに、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きや、時代、民族、風土、宗教などによる表現の共通点や相違点などから、生活や社会の中の美術や美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主】 主体的にさまざまな作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、時代、民族、風土、宗教などによる表現の共通点や相違点などから、生活や社会の中の美術や美術文化について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知】 形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>【技】 意図に応じてカメラ等の用具の特性を生かして、テーマの意図を効果的にあらわしている。</p> <p>【発】 テーマであらわすことの意味を考え、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことをもとに映像メディアの特性を生かして主題を生成し、視点や構図、光などの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 写真の美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫について考え、おこう見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主】 主体的に撮影のテーマを探し、被写体を見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとに、写真に表現する創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知】 形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、デザインを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>【技】 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。</p> <p>【発】 ものの形や色の特徴などから主題を生成し、形と色の組み合わせや構成などの効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 デザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主】 主体的にデザインの目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

※単元の進捗状況により、単元の順序や内容変更の可能性があります。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3年次	国語	実用国語	H	必修・必修・ 選択	2
科目の 目標	<p>日常的な国語について学び、読む、書く、話す、聴く力を総合的に身につけ、基礎的な国語力の充実と自己表現力の育成を目指す。</p> <p>①知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>②思考、判断、表現 実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)		副教材 (出版社)	パスポート国語必携 国語常識の演習と確認 四訂版 (桐原書店)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テスト・課題		◎	◎	
作文・発表・グループ活動			◎	◎
学習観察				◎

3 履修上および学習上の注意

漢字検定準 2 級以上を受験することが望ましい。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	オリエンテーション （使用教材、成績の付き方）	1	
	○正しく情報を伝えよう ・他己紹介	4	【知】伝え方の方法や工夫を理解することができる。 【思】相手の情報が他者に正しく伝わるようにインタビューの仕方や紹介を工夫
5	○敬語について学ぶ	5	【主】積極的にコミュニケーションをとり、相手をより理解しようとしている。 【知】「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」を理解している。
6	○自己理解を深めよう ・スピーチ発表 「自分の長所と短所」	7	【思】それぞれの敬語を文章に合わせて判断することができる。 【主】敬語への理解を深め、日常でも使いこなそうとしている。 【知】具体的にわかりやすいスピーチ内容はどんなものか理解している。
7	○わかりやすい文章の作り方 ・文章の整え方① ・原稿用紙の使い方 ・作文作成① 「学校生活で学んだこと」	10	【思】目線、声量、話すスピードなど「話す」ときに気をつけなければいけないことを意識して話している。 【主】自身を振り返り、自己理解を深めようとしている。 【知】「話し言葉」と「書き言葉」の違いなど、わかりやすい文章の書き方を理解している。
8	○SPI対策	4	【思】自分の考えをまとめ、相手にわかりやすい文章を考えることができる。 【主】伝えたい内容に合わせた表現を工夫しようとしている。 【知】「二語の関係」や「同意語・反意語、語句の意味」等を理解している。
9	○読みやすい文章の作り方 ・文章の整え方②	4	【思】SPIの特徴を理解し、問題を早く、正確に解こうとしている。 【主】より多くの問題に触れ、問題に慣れようとしている。 【知】「主述の対応」や「接続詞」等を理解している。
10	○インタビューをしてみよう	4	【思】決められたルールを使い、自分の文章に反映させようとしている。 【主】積極的に文章の表現技法を使おうとしている。 【知】インタビューをするときに気をつけなければいけないことを理解している。
11	○将来について考えよう ・作文② 「十年後の自分」	5	【思】相手がより話したくなるような質問をしようとしている。 【主】相手の話に興味を持ち、積極的にインタビューしようとしている。 【知】原稿用紙の使い方を理解している。
12	○模擬討論をしてみよう 「留萌地域移住プロジェクト」	5	【思】比喩表現など、文章表現を豊かにする工夫をしている。 【主】将来の自分を想像し、根拠をもとにして考えようとしている。 【知】自分の考えを、根拠をもとに話そうとしている。
1	○「聞くこと」の力をつけよう ・落語、新聞、エッセイ等	5	【思】自分なりのアイデアを持ち、他の人の意見を聞いて考えを膨らませようとしている。 【主】積極的に討論し、アイデアを深めようとしている。 【知】「聞く」ときに気をつけなければいけないことを理解している。
1	○「書くこと」の力をつけよう ・子供の権利条約	5	【思】情報を正確に聞き取り、内容を理解しようとしている。 【主】リスニング教材に興味関心を持とうとしている。 【知】文章の種類によって、文章表現が変わることを理解している。
1	○学校生活を振り返ろう ・作文作成③ 「留萌高校をもっとよい学校にするには」	5	【思】「読み手」によって文章表現を変え、適した文章を書こうとしている。 【主】場面ごとの文章の書き方の違いに興味を持とうとしている。 【知】説得力のある文章の書き方を理解している。
1		5	【思】自分の考えを具体的に書き、わかりやすく説得力のある文章になるよう工夫している。 【主】自分の周りの環境の「改善点」に気づき、想像を膨らませ、「改善方法」を考えようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	保健体育科	生涯スポーツ	H	必履修・必修・ 選択	2
科目の目標	生涯にわたって自分自身のライフサイクルに適したスポーツを楽しみながら継続的に実施できる能力を高め、主体的・積極的に各種スポーツに取り組む態度を育てる。				
教科書(出版社)	なし	副教材(出版社)			
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	生涯にわたって運動を継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解すると共に、楽しみながら学習に取り組む力を養う
思考力・判断力・表現力等	各領域・種目特有の特性や魅力に応じた課題を発見し、合理的・計画的な課題解決の過程の中で思考し判断する力を養う
学びに向かう力・人間性等	仲間と協力して実施計画を立案し、効果的に学習を進めることができる力を養う

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
実技テスト・ノート	◎	◎	
授業活動	○	◎	◎
計画・課題解決		◎	○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 単にスポーツに親しむだけではなく、仲間と協力して練習方法や戦術・戦略を考察したり、新たなルールや競技を考察したりするなど、主体的に授業を構築することを目標とする。 仲間と課題を見つけ、科学的な理解のもとに運動する習慣を身につける。 各種目でスキルテストを実施する。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4 ～ 1	年間を通して実施種目を選択	70	<p>【知】運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけている</p> <p>【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につけている</p> <p>【学】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけているか</p>

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3	家庭科	フードデザイン	G2・H	選択	2
科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>【知識・技能】栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>【主体的に取り組む態度】食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	フードデザイン 家庭702 (教育図書)	副教材 (出版社)			
留意点	材料費 4,000 円徴収予定。			開講 予定人数	20人以下

2 評価

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心を持ち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技・単元テスト		○		
ワークシート			○	
学習観察				○

3 履修上および学習上の注意

調理実習を1時間で実施する。その場で作って食べて片付けまで行う。持ち帰りは認めない。
作るものは教員で課題を提示する。食べ物の好き嫌いが多い者は履修をおすすめしない。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	第1章 健康と食生活 ① 食事の意義と役割 ② 食を取り巻く現状	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の食事にどのような役割があるか理解している。 日本の食生活の現状と、青年期の食生活の課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割をふまえて、自らの食生活を正しく評価している。 日本の食生活の課題を把握し、自身の食生活について考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割を自分ごととしてとらえ、自分の食生活を見直そうとしている。 青年期の食生活の特徴を自らの生活と比較し、食生活を改善しようとしている。
	第2章 栄養素と食品 ① 栄養素と消化・吸収 ② 各栄養素のはたらき ③ 食品とその特徴 ④ 何をどれだけ食べる？	1 5 7 3	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素の種類と役割について、科学的に理解している。 食品の特徴、調理上の性質、調理の特徴や加工などについて理解している。 ライフステージの栄養について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> からだの中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのかについてまとめたり、発表したりすることができている。 栄養素と食品の学習を結びつけ、日常の食事の改善点について考えている。 ライフステージによってなぜ必要とされる食事が異なるのかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質（ミネラル）などの種類、役割について食生活と関連づけて関心を持っている。 食品の種類と特徴についての知識を、自分や家族の健康のために活用しようとしている。 ライフステージにおける栄養素の特徴を知り、食事計画を活用しようとしている。
	第3章 食品の選択と取り扱い ① 食品選択のコツ ② 食品の衛生と安全 ③ 食の安全を考えて選ぶ	2 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品の選び方のコツを身に付けている。 食中毒の特徴を知り、リスクを減らす技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品を選ぶ際に、安全や衛生に配慮して適切に判断している。 食中毒が起こりうる状況を理解し、注意すべき場面について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で食品の表示をチェックし、食生活をより良くするために活用しようとしている。 食品の衛生に関心を持ち、生活に活かそうとしている。
	第4章 調理してみよう ① なぜ調理するのか ② 調理操作と調理器具	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 非加熱調理と加熱操作の種類とそれぞれの特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理操作が料理の出来上がりに与える影響を、具体的に考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に使ってみようとしている。
	実践編 献立と調理	24	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事テーマを具体的に設定し、それに適した献立から、適切に食材の選択をすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事テーマに応じた食材の選択と調理方法に関心を持って取り組もうとしている。
	第5章 各国料理とコーディネート ① 料理の様式 ② テーブルコーディネート	4 4	<ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の特徴や献立構成について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事のテーマに応じた色彩や照明、小物、食卓花など、食事空間の演出を判断し、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の献立や作法について興味を持ち、具体的に取り組もうとしている。
	第6章 食育と食育推進活動 ① 食育推進の取り組み ② 食文化を見つめる ③ 食と環境について考えよう	2 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 食育基本法、食育推進計画等の目的や概要を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食と生活の関わりを、郷土料理や季節などを意識しながら考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育を家庭、地域、企業はどのように推進しようとしているかに意識、関心を持ち、主体的に考えようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	課題研究	-	必履修・必修・選択	4
科目の 目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)		副教材 (出版社)			
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	地域産業の各分野について総合的に理解するとともに、関連する課題を発見し探求する技術を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	地域産業における課題を発見し、地域の未来に携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	課題解決に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
プレゼンテーション	○	○	○
ワークシート	○	○	○
学習観察		○	○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自主性、積極性、計画性、誠実性、責任感などが、実践的活動を通して身につくように留意する。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	オリエンテーション 研究テーマ・班の設定 年間計画書、自己設定評価項目の作成	12	【知】課題解決のために自発的、創造的な学習に取り組み、専門的な知識と技術の深化と総合化が図られ、主体的な学習態度を身につけることができたか。 【思】自ら設定した課題に対し、自ら学び、自ら考え、より良く解決するために工夫して取り組むとともに、学習を通して得た成果を、適切にまとめ、報告・発表することができたか。 【主】主体的に学習する姿勢を持ち、グループ学習や、教え合いなどの工夫をして、知識・技能が定着している。
5	計画書提出・計画発表会 調査・研究	12	
6		12	
7		12	
8		12	
9	課題研究中間発表会	12	
10		15	
11		15	
12	科内発表会 課題研究発表会準備	12	
1	課題研究発表会 「まとめ・修正する」 課題研究報告書作成	14	

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	総合実践	-	必修	3
科目の 目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)		副教材 (出版社)	全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集 1級 総合実践 [同時同業法を中心として] 三訂版 総合実践 [同時同業法を中心として] 三訂版 演習用ノート (実教出版)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識・技能	商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プレゼンテーション		○	○	○
ワークシート		○	○	○
学習観察			○	○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自主性、積極性、計画性、誠実性、責任感、言葉遣いやマナー・コミュニケーション能力などが、実践的活動を通して身につくように留意する。 キットビジネスタウンを実践的教材と位置づけ、企画運営に取り組む。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 総合実践の総説・ビジネスマナー 1. オリエンテーション 2. 領収書・小切手・手形・封筒の書き方 3. 看板作成、会社の定款作成 4. 名刺作成、名刺交換方法 5. 電話対応 6. ビジネスメールの書き方 7. 帳簿準備	10	【知】総合実践とは何か。3年間の学習の集大成としての科目であることと実際のビジネスシーンに関する概要について理解している。 【思】総合実践の授業を受けるにあたり、学習目標に沿った心構えと姿勢で取り組もうとする。 【主】ビジネスにおける基本的なマナーやスキルを身につけている。また、一連の取引に関する書類を正しく記入することができる。
5	第2章 模擬取引の準備・諸帳票の書き方 1. 期首残高設定 2. 見積依頼書・見積書・注文書・注文請書作成練習 3. 納品書・物品受領書・請求書作成練習 4. 仕入・販売業務	10	【知】模擬取引を実施する際の準備と心構えができています。 【思】観光ビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、評価・改善するとともに、改善計画を科学的に検討することができる。 【主】また、一連の取引に関する書類を正しく記入することができる。
6	5. 小売商との取引 【前期中間考査】	1	
	第3章 キッズビジネスタウン準備	10	
7	1. キッズビジネスタウンとは 2. キッズビジネスタウンを行う上での心構え	10	【知】キッズビジネスタウンにおける一連の流れを理解している。 【思】各自の業務内容を理解し、責任を持って周りとは協力しながら積極的に取り組んでいる。
8	3. キッズビジネスタウンで必要なこと・もの	6	【主】キッズビジネスタウンの準備において主体的に取り組む姿勢が見られる。
9	4. キッズビジネスタウンのゴール	10	
10	5. キッズビジネスタウン係分担 【前期末考査】	1	
11	6. キッズビジネスタウンシミュレーション	10	
12	第4章 キッズビジネスタウン 1. 実施 2. 反省	22	【知】キッズビジネスタウンを通じた地域活性化まで意識し、各協力企業および団体に対しても感謝しなければならないことを理解する。
1	3. 次年度への提言 4. 報告書作成	6	【思】小学生の目線に立ち行動し、留萌の未来を考え、まちづくりの課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、対応策を考えている。 【主】地域活性化について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	ビジネス法規	-	必修	2
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) ビジネスに関する法について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書(出版社)	商業 740 ビジネス法規 (実教出版)	副教材(出版社)	ビジネス法規 準拠問題集 (実教出版)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識・技能	実際のビジネスに関連する法規に基づき、ビジネスの様々な場面で役に立つ法規に関する知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスにおける法規に関する課題を発見するとともに、様々な事例を法的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスにおける法規に関する課題について学ぶ態度及び主体的に取り組む態度を養っている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レポート		○	○	
定期考査		○	○	○
学習観察				○

3 履修上および学習上の注意

・ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、判断して行動する能力と態度を育てる。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 法の概要 1節 ビジネスにおける法の役割 2節 法の体系と解釈・適用	9	第1章【知】【思】【主】 ・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・ビジネスを円滑に行うため、現状について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・法が体系的に存在していること、法の分類及び法の解釈と適用の考え方について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
5	第2章 権利・義務と財産権 1節 権利・義務とその主体 2節 物と物権・債権 3節 知的財産権	9	第2章【知】【思】【主】 ・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて見いだしている。 ・知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、知的財産を保護し活用する方策を考察して実施し評価・改善している。
6	第3章 財産権の変動 1節 契約 2節 物の売買 3節 物の貸借 4節 不法行為 5節 時効	9	第3章【知】【思】【主】 ・企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて見いだしている。 ・企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。 ・企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・不法行為や時効の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。
7			・不法行為や時効など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
8	第4章 企業活動と法規 1節 企業活動の主体	11	第4章【知】【思】【主】 ・企業活動の主体とその商行為の概要、株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規との関連付けて理解している。
9	2節 株式会社の特徴と機関 3節 資金調達と金融取引 4節 組織再編と清算・再建 5節 競争秩序の確保	9	・企業活動に係る法規について、株式会社における事例と関連付けて見いだしている。 ・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解している。 ・資金の調達や運用と現状・課題、セーフティーネットについて学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。
10			・競争秩序の確保の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。
11	第5章 企業責任と法規 1節 法令遵守と説明責任 2節 労働者の保護 3節 消費者の保護 4節 情報の保護	9	第5章【知】【思】【主】 ・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解している。 ・消費者の保護に関する法規の概要について理解している。 ・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）、企業統治（コーポレート・ガバナンス）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。
12	第6章 紛争の解決と予防 1節 紛争の解決 2節 紛争の予防	9	第6章【知】【思】【主】 ・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることについて理解している。
1	第7章 税と法規 1節 税の種類と法人の納税義務 2節 法人税の申告と納付 3節 消費税の申告と納付	8	第7章【知】【思】【主】 ・国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解している。 ・企業における税の申告と納税に関する課題を発見し、それを踏まえ、法的な根拠に基づいて、税に関する責任を果たす方策を考察して実施し、評価・改善している。
2			

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	ビジネス・コミュニケーション	選択	選択	2
科目の 目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して、自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
教科書 (出版社)	商業 704 ビジネス・コミュニケーション (実教出版)	副教材 (出版社)	ビジネス・コミュニケーション 準拠問題集 (実教出版)		
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。
主体的に学習に取り組む態度	自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プレゼンテーション		○	○	
定期考査		○	○	○
学習観察				○

3 履修上および学習上の注意

<p>・生徒の自主性、積極性、計画性、誠実性、責任感、言葉遣いやマナー・コミュニケーション能力 などが身につくように留意する。</p>

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	1章企業の組織と人間関係 1. 企業の組織と意思決定 2. 業務の進行方法 3. 仕事に対する心がまえ 4. 人的ネットワークの構築	9	第1章【知】【思】【主】 ・組織の構造と意思決定の関係を理解する。 ・業務の適切な進行方法やそれを実践する重要性を理解する。） ・業務の効率化に必要なスケジュール管理方法を理解する。） ・社会人としての心構えと良好な人間関係を築く必要性を理解する。 ・人的ネットワークや顧客との信頼関係を構築することの重要性を理解する。
5	2章応対に関するビジネスマナー 1. 挨拶 2. 身だしなみ・表情・身のこなし 3. 言葉遣い 4. 名刺交換と紹介	9	第2章【知】【思】【主】 ・場面に応じた挨拶やお辞儀を理解し、実践する。 ・身だしなみ・表情・身のこなしなどを理解し、実践する。 ・敬語やコミュニケーションの言葉など、適切な言葉遣いを理解し、実践する。
6	5. 訪問・来客の応対 6. 電話の応対 7. 席次のマナー		・名刺交換の方法と紹介のルールを理解し、実践する。 ・訪問・来客の対応などを理解し、実践する。 ・電話対応における適切なコミュニケーションを理解し、実践する。 ・席次のマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。
7	3章交際に関するビジネスマナー 1. 交際のマナー 2. 食事のマナー		第3章【知】【思】【主】 ・冠婚葬祭の基礎知識、贈答・慶事・弔事などのマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。 ・食事のマナーの基本、西洋料理・日本料理・中国料理・立食スタイルでのマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。
8	4章接客に関するビジネスマナー 1. 接客 2. ホスピタリティの概念と重要性	11	第4章【知】【思】【主】 ・効果的な接客に必要な知識や態度について理解し、実践する。 ・ホスピタリティについて理解し外国人に対する接客の注意点について考察する。
9	5章コミュニケーションの役割と思考方法 1. コミュニケーションの役割と種類 2. ビジネスコミュニケーションの基本 3. ビジネスにおける思考方法 4. ティベート	9	第5章【知】【思】【主】 ・ビジネスコミュニケーションの役割と種類を学習し、その重要性を理解する。 ・ビジネスコミュニケーションの場面と心得を理解する。 ・論理的な考え方やビジネスにおけるフレームワークを理解する。
10	6章ビジネスにおけるコミュニケーション 1. ディスカッション 2. プレゼンテーション 3. 交渉 4. 苦情対応 5. 商品説明とワークショップ 6. ソーシャルメディアを活用した情報発信	9	第6章【知】【思】【主】 ・ティベートの方法を理解し、主体的に活動に参加する。 ・ディスカッションの方法や意義を理解し、討論することができる。 ・プレゼンテーションツールを使い、分かりやすい発表を行うことができる。 ・交渉、苦情対応など場面に応じた適切な行動を理解し、実践する。 ・店頭やネットショップ、ワークショップにおける効果的な商品説明について理解し、実践する。 ・ソーシャルメディアによる情報発信の有用性と注意点について理解し、実例を挙げることができる。
11	7章コミュニケーションとビジネススキル 1. 会議 2. 文書におけるコミュニケーション	9	第7章【知】【思】【主】 ・会議の目的と種類、基本的な流れや会場設営、議事の進め方や議事録の作成方法などについて理解する。 ・文書の種類と内容、社外文書・社内文書の作成方法、電子メールの利用、はがきや封筒の書き方や郵便物の特殊なサービスなどについて理解する。
12	8章企業活動のグローバル化 1. 国際化の進展とビジネス 2. 国際ビジネスにおけるコミュニケーション	8	第8章【知】【思】【主】 ・市場の国際化、ビジネスシーンの国際化について理解する。 ・ビジネスに必要な英語について自ら学び、ビジネスにおける外国人への対応に主体的かつ協働的に取り組む。 ・ノンバーバルコミュニケーションの重要性について理解する。 ・コミュニケーションツールとしての英語について理解する。 ・ビジネスに必要な英語について自ら学び、ビジネスにおける外国人への対応に主体的かつ協働的に取り組む。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	グローバル経済	選択	選択	2
科目の 目 標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、グローバル化する経済社会におけるビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。</p> <p>(2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</p>				
教科書 (出版社)	商業 734 グローバル経済 (実教出版)	副教材 (出版社)	グローバル経済 準拠問題集 (実教出版)		
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	日本経済の現状に関連する経済活動について、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済のグローバル化に関する知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスにおける国際経済や国内経済に関する課題を発見するとともに、様々な事例をグローバルな視野に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスにおける国際経済や国内経済に関する課題について学ぶ態度及び主体的に取り組む態度を養っている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト		◎	○	
ワークシート		○	◎	○
学習観察				◎

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 経済のグローバル化について基礎的・基本的知識を習得させ、経済社会におけるビジネスの意義や役割について理解させるとともに、経済事象を国際的な視野に立って考え、判断して行動する能力と態度を育てる。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 グローバル化が進展する社会 1. 国境を超えて広がる世界 2. グローバル化する社会	4	第1章【知】【思】【主】 ・グローバル化する社会の現状やその問題点の概要について理解している。 ・グローバル化の進展によって、社会がどのように変化しているのか、経済面での発展との関連について考えている。 ・地域経済統合の意義について理解し、主な地域経済統合について把握している。
5	3. グローバル化と地域経済統合の動き 4. グローバル化と経済発展 5. グローバル化の諸問題	4	・グローバル・バリューチェーンについて理解するとともに、経済発展との関連について考えている。 ・グローバル化による問題点について、解決策の検討に取り組んでいる。 ・実習に積極的に取り組んでいる。
6	中間考査 第2章 経営のグローバル化 1. 多国籍企業とグローバル経営	1 7	第2章【知】【思】【主】 ・企業がグローバル化する理由について考察することができている。 ・企業が海外進出する際の判断基準や方法について、それぞれの内容を理解している。
7	2. 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ 3. グローバル経営の現状 4. グローバル経営の課題	7	・海外拠点の役割の変化や現地化の内容について理解している。 ・グローバル経営を行う上での課題について考察し、対応方法について考察することができている。
8	5. グローバル化に伴う企業の社会的責任	7	・グローバル化に伴う問題に対する企業の社会的責任について理解している。
9	第3章 経済のグローバル化 1. 人材のグローバル化	11	第3章【知】【思】【主】 ・人材のグローバル化について、現状を理解し、課題について考察することができている。
10	2. 財とサービスのグローバル化		・国際分業の特徴について理解し、それを実現させるための各種協定等について、各国における状況を踏まえて理解している。
11	中間考査 3. 金融のグローバル化		
12	4. 情報のグローバル化	9	第4章【知】【思】【主】 ・市場に関する理論的な内容について理解することができている。 ・現実社会における市場の課題について考察し、対応のための方法について考えることができる。 ・市場理論を通して、経済学について関心を持つようとしている。
	第4章 市場と経済 1. 需要と供給による市場の理論		
1	2. 経済成長 3. 景気循環とインフレーション 4. 経済政策 学年末考査	9	
		9	
		8	

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	財務会計Ⅱ	選択	選択	3
科目の 目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 開経会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断解を分析する力を養う。 (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 (出版社)	財務会計Ⅱ (実教出版)	副教材 (出版社)	反復式 会計問題集 全商1級会計 新検定対応 (実教出版)		
留意点				開講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識・技能	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、それらを活用し経営分析及び経営判断に役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。
思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準および会計処理の方法の妥当性と実務に適用することにもなう課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠にもとづいて工夫してよりよく課題に対応する力および経営分析とその改善を総合的に分析する力が身についている。
主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指してみずから財務会計について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、財務諸表の作成と適切な分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レポート		○	○	
定期考査		○	○	○
学習観察				○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 2学年で学ぶ「財務会計Ⅰ」を発展させた内容である。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1編 総論－財務会計の基本概 念と会計基準－ 第1章 財務会計の基本概 念 第2章 資産負債アプローチと収 益費用アプローチ	10	【知】財務会計の基本概 念を理解したか。 【思】財務諸表の構成要素の定義がなぜ必要であるのか、その理由を 考えたか。 【主】財務諸表の構成要素など財務会計の基本概 念の学習に興味を示 し、自ら進んで学習しようとする態度が見られたか。
5	第3章 会計基準の国際的統合	12	
6	第2編 各論（1）－財務会計の実 際－ 第4章 資産会計 第5章 負債会計	1 9	【知】資産・負債・純資産の評価基準や評価方法について理解した か。現在価値の計算や利息法による償却原価の計算、記帳法などに習 熟したか。 【思】資産・負債・純資産の評価についての基礎理論を考え、各種資産 の評価に当たり、適切な判断ができたか。
7	第6章 純資産会計	9	
8	第7章 損益会計	6	【主】資産・負債・純資産の評価基準や評価方法の理解に高い関心を 持ち、特に減損の会計処理の学習を積極的に進めようとしたか。
9	第8章 リース会計 第9章 税効果会計	9	
10	第3編 各論（2）－企業活動の展 開と財務会計－ 第10章 外貨換算会計 第11章 キャッシュ・フロー計算 書	1 9	【知】外貨建取引の意味、基本的な会計処理および外貨建項目の決算 時の会計処理を理解したか。また、キャッシュ・フロー計算書の意義 と必要性を理解したか。 【思】外貨換算会計についての基礎理論を考え、外貨建取引発生日・ 決済日・決算日の会計処理について適切な判断ができたか。また、キ ャッシュ・フロー計算書についての基礎理論を考え、その作成に当た り、表示区分や表示方法などに関して適切な判断ができたか。 【主】外貨換算会計の内容に高い関心を持ち、その記帳法の学習を積 極的に進めようとしたか。
11	第4編 各論（3）－企業結合の会 計－ 第13章 連結財務諸表の作成（そ の1）	12	【知】企業結合会計、特に吸収合併における会計処理を理解したか。 【思】企業結合会計についての基礎理論を考え、合併の会計処理につ いて適切な判断ができたか。 【主】企業結合会計の意味および合併会計の理解に関心を高め、その 学習を積極的に進めようとしたか。
12	第14章 連結財務諸表の作成（そ の2） 第15章 持分法	12	
1	第16章 連結税効果会計	6	
	第4編 財務諸表の活用 第17章 財務諸表の活用		【知】有価証券報告書などから企業グループの現状を把握する流れを 理解したか。 【思】有価証券報告書などから企業グループの現状を考え、適切な判 断ができたか。 【主】・企業グループの現状を把握するためには、どのようにすれば よいか高い関心を持ち、インターネットなどにより、その学習を積 極的に進めようとしたか。
	第5編 監査と職業会計人 第18章 監査と職業会計人		【知】会社法および金融商品取引法に基づく監査についての知識を身 につけ、それぞれの特徴を理解している。 【思】二つの法律とそれぞれの監査の異同について考えようとしてい る。 【主】監査のプロセスと監査手続などに強い関心を持ち、その学習を 積極的に進めようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
3学年	商業	ネットワーク活用	選択	選択	3
科目の目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に関与する主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
教科書(出版社)	ネットワーク活用(実教出版)	副教材(出版社)			
留意点			開講 予定人数		

2 評価

(1) 評価の観点

観点	趣旨
知識・技能	ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。
思考・判断・表現	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に関与する主体的かつ協働的に取り組むことができる。

(2) 評価方法

評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・小テスト		○	○	
ワークシート			○	○
学習観察				○

3 履修上および学習上の注意

<ul style="list-style-type: none"> 「ネットワーク活用」は、2年で学んだ「ソフトウェア活用」の発展的な科目です。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	1章 情報通信技術の進歩とビジネス	3	情報通信技術の進歩と、ビジネスの形態の変化を関連付けて説明できるか。（知，思）
	1節 ICTにより創造される新しいビジネス	3	IoT、ビッグデータ、AIなどの新しい利用技術に興味を持ち、これらを生かした新たなビジネスについて考察しようとしているか。（思，主）
	2節 個人情報と知的財産の保護	3	個人情報や知的財産の概要と、それを保護することの重要性を理解している。（知） 情報通信技術を活用する際に留意すべき個人情報や知的財産の取り扱い方を具体的な事例で考察し、説明することができる。（思，主）
	3節 関連法規とガイドライン	3	情報セキュリティや電子商取引に関する法規やガイドラインの必要性を、情報通信技術を活用する際の具体的な課題と関連付けて考察し、説明することができる。（知，思，主）
5		10	
	2章 情報コンテンツの制作		図形と静止画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などを理解し、それらを作成・編集するための基本的な技術を身につけること
6	1節 図形と静止画	8	ができたか。（知，思，主）
	2節 音声と動画		音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などを理解し、それらを作成・編集するための基本的な技術を身につけること
7		10	ができたか。（知，思，主）
	3章 企業情報の発信と Web デザイン		Web ページの制作について理解するとともに、企業情報の発信について有用な Web サイトおよび Web ページを考察することができたか。
8	1節 Web ページの制作とデザイン	10	Web ページを制作するための知識と技術を身につけることができたか。（知，思，主）
	2節 Web ページ制作の基礎	10	基本的な HTML タグや CSS と JavaScript について理解し、企業情報の発信について有用な Web サイトを作成する技術を身につけることができたか。（知，思，主）
9		10	
10	3節 Web ページ制作の応用	10	CMS の仕組みや利用する利点を理解するとともに適切に用いて Web サイトを構築し、効果的に用いることで情報の発信に有用な Web サイト制作技術を身につけることができたか。（知，思，主）
11	4章 インターネットと情報セキュリティ	6	インターネットとネットワークの仕組みを理解し、関連する知識・技術を身につけることで、課題を発見し、解決するために主体的かつ協働的に取り組むことができたか。（知，思，主）
12	1節 インターネットのしくみ	8	
	2節 ハードウェアとソフトウェアの導入	8	インターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアを理解し、情報端末をインターネットに接続する手段について、企業活動に適切な環境を構築するために、主体的、協働的に取り組むことができたか。（知，思，主）
	3節 情報セキュリティの確保	8	インターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について自ら学び、実務に即して理解するとともに、企業における具体的な事例と関連付け、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。（知，思，主）
1	5章 電子商取引とビジネス	6	ネットワークを用いたビジネスの方法を理解することができたか。企業間取引、企業対消費者間の商取引における契約方法について理解することができたか。電子決済のしくみ、決済方法についての手順や内容について理解することができたか。（知，思，主）
	1節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済	6	
	2節 電子商取引サイトの開店準備		電子商取引のしくみや開発に興味を持ち、電子商取引開設のための手順を理解することができたか。また、店舗運営を行うための基礎的な知識について理解することができたか。（知，思，主）